

授業科目	小児看護学概論	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		2年次	1	30		高氏美奈子	有
授業概要	<p>小児看護学概論では、変化する社会の中で子どもの人権を守り、子どもと社会のおかれている状況を的確に判断し、成長・発達やさまざまな健康状態に応じた看護を考えていく必要がある。この科目では、子どもの特徴と小児看護の概念を理解し、子どもの成長・発達と健康増進のための看護を学ぶ。また、小児保健統計を踏まえ、子どもを保護する法律や保健対策を理解する。</p>						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	I. 小児看護の特徴と理念						講義
2	1) 小児看護の目的・目標						
3	2) 子どもの特徴と小児看護の変遷						
3	3) 子どもの人権と看護						
	生命倫理・児童憲章・児童の権利に関する条約						
4	4) 子どもと家族の諸統計						
4	II. 子どもの成長と発達						
	1) 成長発達の原則						
	2) 形態的成長・機能的発達						
5	3) 心理社会的発達						
	認知、情緒、社会性、コミュニケーション、遊び、発達課題						
	4) 発育・発達の評価						
6	III. 子どもの栄養						
7	IV. 子ども各期の特徴と看護						
	ボウルビィ愛着理論、ピアジェ認知発達、 エリクソンの自我発達						
	新生児：栄養、感染予防						
8	乳児期：母子関係の確立、母子分離不安						
	幼児期：基本的生活習慣の確立、運動と遊び、情緒の分化						
9	学童期：セルフケアの発達、学校と適応、学習と遊び、第二次性徴						
	思春期：セルフケアと保健教育、親からの自立、問題行動と家族機能						
10	V. 子どもを取り巻く環境						
	1) 子どもと家族 2) 子どもと社会						
11	VI. 子どもの安全 事故防止						
12	VII. 小児保健の動向と対策						
	小児保健医療福祉に関する法律と政策						
13	VIII. 現代の子どもの諸問題						
14	IX. 子どもの虐待と看護						
15	試験						
テキスト	小児看護学1・2／医学書院						
評価方法	筆記試験						
先修条件	基礎看護学9科目の履修						